

明和町の維持向上すべき歴史的風致

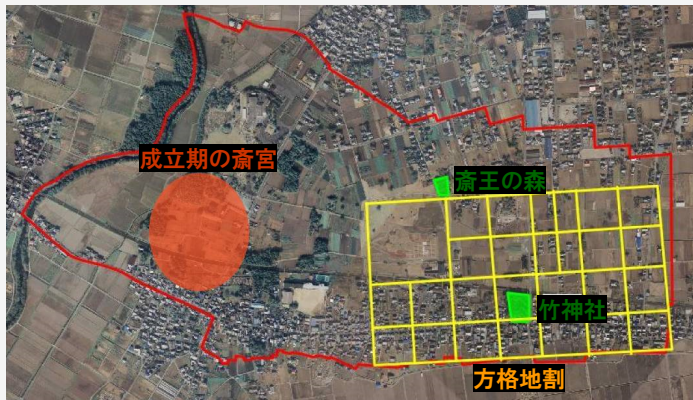
計画期間
令和3年度(2021)～令和12年度(2030)

明和町は、古くは全域が伊勢神宮の神領となっており、古代から中世にかけて、天皇に代わりに伊勢神宮の天照大神に奉仕するため、歴代天皇の即位ごとに伊勢に遣わされた「齋王」の御殿とその事務を取り扱う役所(齋宮寮)からなる「齋宮」が置かれていました。近世においては、「齋宮」があった齋宮村をはじめとした5か村は、伊勢神宮の直轄地(神宮領)として残り、伊勢神宮と密接なかかわりを持って発展してきました。

こうした歴史的背景から、齋王制度が廃絶した後も齋宮の旧跡地では、地域住民による保存顕彰活動が受け継がれています。また、町内には大淀祇園祭、前野のお頭神事などの民俗行事が歴史的建造物と一体となって明和町の歴史的風致を形成しています。

齋宮の顕彰と保存に関する歴史的風致

齋王制度が廃絶した後、齋宮の旧跡地である「齋王の森」や「野々宮(竹神社)」は、神聖な場所として現在も地元住民に守られ、明治以降の齋宮復興への運動により、史跡指定に繋がりました。地元住民等は往時の隆盛を誇った齋宮の様子を目にすることはできない中で、その姿を皆が思い描きながら、「齋王の森」や「野々宮」を守り続け、ありし日の「齋宮」を思い起こして、市街地に眠る歴史を大切に伝え残すという思いを受け継いでいます。



齋宮成立期と方格地割の位置図



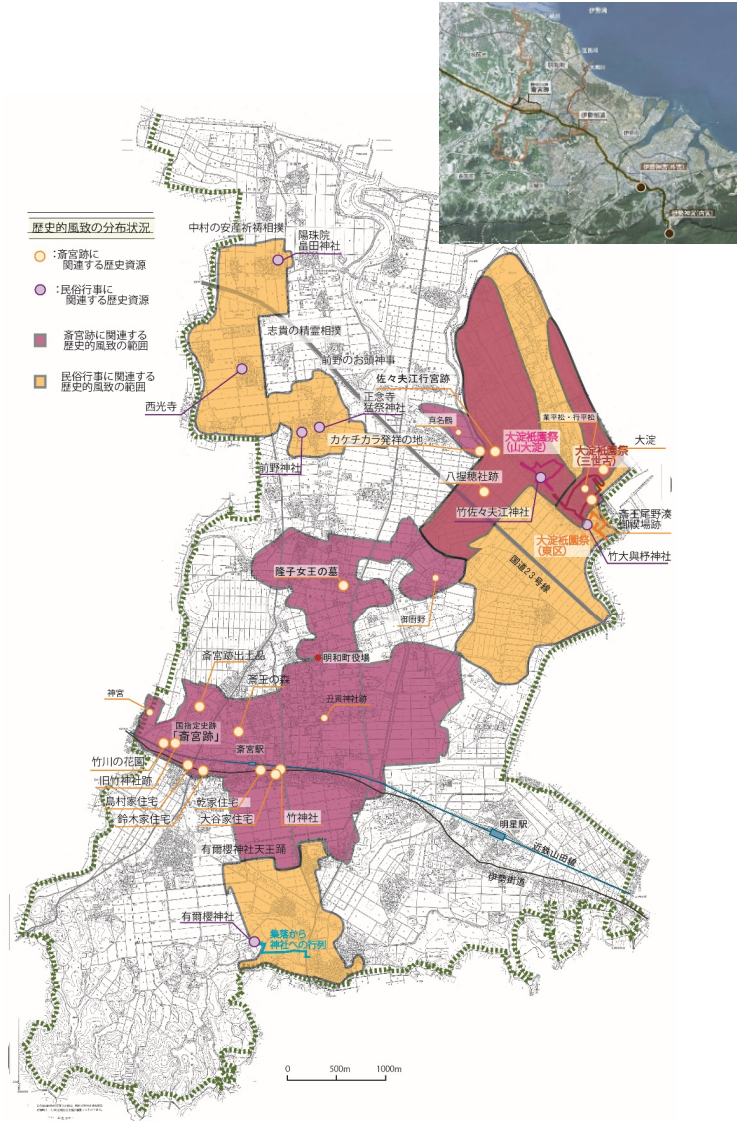
齋王の森



野々宮(竹神社)



さいおうのおのみなとおんみそぎばあと
齋王尾野湊御禊場跡



民俗行事に見る歴史的風致

町内には民俗行事として、大淀祇園祭や宇爾櫻神社天王踊り等が受け継がれています。こうした行事は、地域の人の手で古くから受け継がれてきており、農村と漁村を舞台として、町民の情熱と地域が一体となった伝統的な祭りの風情を感じさせています。



海上渡御(大淀祇園祭)



宇爾櫻神社天王踊り



前野のお頭神事



中村の安産祈禱相撲



志貴の精霊相撲

重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称と面積
 名称: 斎宮跡周辺地区
 面積: 約588ha

日本遺産構成文化財等整備事業

日本遺産の構成文化財は町内各所に点在しており、公園として便益施設の整備をすることにより、回遊性を高めることにつながり、町内全体の歴史的風致の維持向上に寄与する。



佐々夫江行宮跡

歴史的建造物等の活用整備事業

伊勢街道沿いの歴史的な町家等を活かし、地域住民との交流や来訪者の利便性を図るため、散策者の休憩・案内施設として、地域の人の同意を得て、整備することで斎宮の顕彰と保存に関する歴史的風致の維持向上に寄与する。



整備イメージ

史跡公園（社の森広場）整備事業

明治時代に廃絶された神社の跡地を神聖な森として整備し、地域住民や来訪者の交流の場として活用することで、地域の歴史を再認識でき、斎宮地区の歴史的風致の維持及び向上に寄与する。



整備箇所の現状

史跡公園(菟戸広場)整備事業

史跡内を散策する地域住民や来訪者が休憩や菟川の自然と歴史文化に親しむことができる広場(憩い空間)や駐輪・駐車できる多目的広場を整備することで、重点区域内の回遊性が高まり、斎宮地区の歴史的風致の維持及び向上に寄与する。



整備箇所の現状

重点区域において、歴史的建造物の保存と活用や、第1期計画で整備した公園をさらに公開および活用できるよう充実したものにし、散策道の延長やポケットパークの整備、誘導案内板の設置をすることで回遊ルートの実現を図る。また、日本遺産の構成文化財についても、必要に応じて歴史的建造物とその周辺整備を行い、歴史的風致の維持及び向上を図る。

整備を行った施設で、積極的な公開・活用を行い、歴史文化資産を活用した事業等を実施することで、歴史的風致の活用による地域活性化を図る。

